

■履修モデル: 環境問題に関する幅広い知識を身につけて社会に出たい。  
(一般企業、公務員、環境系学部・学科への編入学)

- ・環境系科目を中心に履修する。建築系科目については地域づくり関連の科目を主とし、構造力学等建築関連の講義科目や、設計製図関連の実習科目は必ずしも履修する必要はない。
- ・編入学志望者は、「統計学」、「数理科学」を履修することが望ましい。

【履修例】

区分		1年次	2年次	
		科目名	科目名	
基礎科目	語学基礎	・語学 I (英語、ドイツ語、フランス語、中国語)		
	専修基礎	・生活科学概論		
共通科目		・自然と科学 ・環境論 ・情報技術論 ・農林体験セミナー ・情報処理実習 I・II	・生命科学 ・情報と社会 ・地理学 など	
専修科目	生活基礎	・住生活論 ・生活経営 ・生活と環境	・食生活論 ・地域づくり実践(2年次) など	
	福祉・心理関連分野 (専修第一分野)	・子どもの栄養 など	・医学知識 ・子どもの健康 ・認知の科学 など	
	居住環境関連分野 (専修第二分野)	建築系科目	・地域環境学 ・都市計画論 など	
		環境系科目	・経済原論 ・環境政策論 ・環境倫理学 ・環境とエネルギー ・環境共生論	・生態系の科学 ・消費者法 ・地域政策論 II
		その他	・数理科学 ・統計学 ・居住環境基礎(1年次)	・化学 ・社会学 ・地域政策論 I
演習		・居住環境特別演習		

(注意)

この履修モデルはあくまで参考例として示すものであり、この通りに履修する必要はない。  
卒業要件や資格取得要件を念頭に、時間割とシラバスを確認の上、履修科目を選択すること。  
1年間に履修できる単位数は50単位までであるため、計画的に履修すること。  
履修申告書を提出する前に、クラス担任(教員)のチェックを受けること。